

第63回定時株主総会のご報告

2008年6月23日(月)午前10時より、グランドプリンスホテル新高輪「国際館パミール」において、代表取締役社長山元峯生を議長として開催いたしました。当日出席された株主数は3,204名で、過去最多となりました。

2007年度のANAグループ連結業績をナレーションとスライドにて報告後、「剰余金処分」、「取締役17名選任」、「監査役3名選任」の3議案が上程され質疑応答に移りました。9名の株主の方よりご質問や貴重なご意見を承り、その後全議案が承認・可決され、12時02分に閉会いたしました。以下に出席された株主の方々と質疑応答の内容の一部をご報告申し上げます。



Q 燃油価格高騰の中、低燃費のボーイング787型機の納期が大幅に遅れているが、事業計画への影響は？

A ボーイング787型機の納期遅れについては、今年度(2008年度)の事業計画には反映済みであり、今年度は影響ございませんが、中期的な事業計画については、ご指摘の燃油価格高騰という要素も含め、来年初頭を目処に修正を行わざるを得ないと考えています。機材面の手当てとしては、現有機材の稼働率の向上、退役予定機材の退役延長等で対応する予定です。一方、ボーイング社に対しては、少しでも早く納入するよう申し入れを行っています。

Q 燃油価格高騰に対し、スターアライアンス各社が協力して何か対策を取れないのですか？

A 現在、ロサンゼルス・サンフランシスコ・ロンドン(ヒースロー)・パリ(シャルルドゴール)の4空港において、スターアライアンス各社が共同でスケールメリットを生かした燃油の調達を行っています。この方法の有効性を検証しながら、今後他の空港への拡大を検討してまいります。

Q JR東日本との提携戦略について説明してほしい。

A ANAマイレージクラブのマイルからSuicaポイントへの交換、ANAカードとビューカードの一体型カードの発行、両社のWEBサイトおよび旅行会員組織における提携等について合意しています。今秋より発行予定の一体型カードについては、これ1枚で鉄道やバス等への乗車と、当社国内線SKiPサービスのご利用が可能となります。今回の提携を通じて、地上交通とのシームレスなサービスが実現いたしますので引き続き多くのご利用をいただきたいと思います。

Q 米国および欧州におけるカルテル疑惑に関し説明してほしい。

A 米国に関しては2007年3月等に司法当局から強制捜査を受けましたが、当社としては事実関係の有無も含め捜査に協力してまいります。現在捜査が進行中のため、これ以上の説明はご容赦ください。欧州については、2007年12月に欧州委員会からカルテル疑惑に関し異議告知書を受領し、その内容を精査した上で本年3月に違反がないと思われるものについては反論を行っています。今後の展開は捜査が進行中のため申し上げられませんが、会計上の要請もあり、過去の事例等を参考に将来発生する可能性がある損失の本年3月末段階の見積額として161億円の引当金を当期に計上させていただきました。

Q ボンバルディアDHC8-Q400型機の安全性に問題はないのですか？

A DHC8-Q400型機は、当局の安全性基準を満たしている飛行機であり、安全性については問題ありません。当社としては、定時性や就航率等においても信頼性を向上させるために、定期的な点検に加え、これまでに発生した不具合の情報を分析して対策を施したり、ボンバルディア社に駐在員を派遣したり、点検を強化する等の取り組みを続けてきました。現時点ではその信頼性は当社の他機種と同等の水準に達してきています。引き続き信頼性向上に向けての努力を継続してまいります。

Q 取締役の数は10名程度でいいのではないですか。

A 2010年の羽田・成田の発着枠拡大というビジネスチャンスや競争激化を見据え、経営陣を強化するため、今回は17名の取締役選任をお願いしております。しかしながら、ご指摘の通り、なるべく少数の取締役で迅速に意思決定をして効率的な運営を行っていくという姿勢は変えず、引き続き努力してまいります。

Q 安全確保に関する具体的な対応策を教えてください。

A 「安全は経営の基盤であり、社会への責務である」というグループ安全理念をグループ社員全体に周知徹底しています。2006年には安全管理規程を策定し、経営トップからフロントライン社員一人ひとりに至るまで安全の重要性を認識した上で業務を遂行し、絶えず改善に努めており、国や外部機関からも当社の安全への取り組みに対しては高い評価をいただいています。また、毎週経



受付の様子

営トップが週間の運航状況を確認するオペレーションレポート会や、グループ航空会社共通の安全監査基準を定め、その基準に基づいて安全監査を実施する仕組みを設ける等、多方面から安全確保に取り組んでいます。



展示コーナー 国際線ファーストクラスシート

以上のほか、「今後のホテル事業」、「A380の導入」、「西武鉄道株式に関する損害賠償請求」、「MRJ(三菱リージョナルジェット)の導入」、「親切感のあるサービス」等について、ご質問・ご意見をいただきました。当社といたしましては、今回頂戴したご意見等を参考とさせていただき、今後より一層の業務効率化やサービス改善に取り組んでまいり所存でございます。株主の皆様におかれましては、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

スライドによる事業報告の一部

